

議 事 録

会 議 名	令和5年度第3回三芳町地域公共交通協議会
開 催 日 時	令和6年3月25日(月) 10時00分開会 11時30分閉会
開 催 場 所	三芳町役場4階401会議室
主 宰 者 氏 名	三芳町地域公共交通協議会
出 席 者	林会長、板谷副会長、西内委員、照井委員、関根委員、市川委員(代理)、廣瀬委員、坂井委員、村上委員、永山委員、山田委員、篠原委員、小池委員、若林委員、井上委員 三芳町地域公共交通計画策定支援業務委託事業者 担当2名
欠 席 者	藤田委員、人見委員、西山委員
傍 聴 人	なし
事務局職員	政策推進室 室長 島田高志 副室長 南雲玲 政策推進担当 主任 萩原春香 主事 森卓哉
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>第1号議案 各種調査の実施結果について</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画の今後の方向性について ・公共交通に関する取り組みについて <p>5 閉 会</p>
結 果	<p>・第1号議案について、事務局及び三芳町地域公共交通計画策定支援業務委託事業者(株式会社ケー・シー・エス)より説明し、原案のとおり承認を得た。</p>
配 布 資 料	<p>・令和5年度第3回地域公共交通協議会【議案書】</p>
発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
委 員	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>第1号議案 各種調査の実施結果について</p> <p>1点目に、p.5「回答者の属性」について、回答数の内訳で国勢調査等の実際の人口分布を追加すると実際の人口とそれに対するアンケート回答者数や、どれくらいの方が交通政策に興味があるのか等分かる。可能であれば追加をお願いしたい。</p> <p>2点目に、p.16「日常の買い物の移動で利用する交通機関」について、上富地</p>

<p>委託事業者</p>	<p>域で自家用車（自分で運転）の利用が 69.5%であり、公共交通への変換が出来れば有効である。上富地域に限らず、町外に対して何が出来るのか伺いたい。</p> <p>1 点目の件に関して、検討する。</p> <p>2 点目の件に関して、町外へのデマンド交通について不可能ではない。基本的にデマンド交通を走らせるならば、想定では町内のエリア設定になるが、エリア外の乗降場所を設定するのは 1 つになる。3 駅（みずほ台駅、鶴瀬駅、ふじみ野駅）へのアクセスは検討したいと考えている。実現に関しては各自治体への声かけが必要だが、3 駅に関しては過去に実証運行を行っていたため、相談はしやすいと考える。また、所沢市方面への拡張も考えられるが、自治体への調整や先方の方で同じような公共交通協議会がある場合は 1 度話を通した方が良い。実施する場合、運行当初から行うのではなく将来的な形で考えていくのが良い。</p>
<p>事務局</p>	<p>三芳町の過去のデマンド交通は、鶴瀬駅、みずほ台駅の 2 駅で行っていた。ふじみ野駅は少し距離がある事や車両台数にも限りがあることにより除いた。所沢市へのアクセスに関してもアンケート等に要望があったため、エスティティ付近のバス停まで伸ばしたが、想定より利用者が少なかった。</p>
<p>委員</p>	<p>これからの課題として、どのような形に持っていくかが課題となる。このアンケート結果が三芳町の全部ではない。その辺りも考えながら検討して頂きたい。</p>
<p>委員</p>	<p>高齢者からバス停が遠い等の意見が出ている。もう少し会議をやっていけたらと考える。</p>
<p>委員</p>	<p>p.52「最寄りの公共交通を利用しやすくなるために必要だと思う要素」に関して、利用者の要望に応じていくとなると、この改善が必要になると思う。現状、2024 年問題が当初の予定よりダメージが大きい。乗務員を確保するためには賃金を上げ、収益を上げ、運賃を値上げする事になるが、すぐに効果が表れるものではなく難しい問題である。</p> <p>私見になるが、一案として(株)ライフバスを町の方で買収して頂き、町営バスという形で運営していくという方法がある。p.52 の事を全て解決するとなると単独の事業者では難しい。例えば「交通系 IC カードを導入してほしい」という意見について、交通系 IC カードへの加入費や端末費等莫大な費用がかかる。しかし IC カードが使えない高齢者等は、現金や回数券で利用するため結局利便性は向上しない。長期的な目線で今後の方向性について皆さんで考えて頂きたい。運行本数・運行時間拡大等を、利益が出る形で出来るのか、根本的にどう考えるのかこうした会議で考えていけたらと考える。</p>
<p>委員</p>	<p>これだけの規模でアンケートを実施し、町内の交通の状況が明らかになったのは初めてであり、極めて意義がある。この内容をうまく活用して今後の交通政策を進めて頂きたい。また、抽出の状況について、町内の状況を各設問の回答のグ</p>

	<p>ラフが反映しているかどうかの分析を追加して頂きたい。</p> <p>アンケート結果から、三芳町は車社会だと感じた。公共交通のアンケート調査を行っていても、道路に関する要望がかなり多くなっている。公共交通と道路整備両方の改善が必要である。</p> <p>また、三芳町で日常的に路線バスを利用している方は、町内に5%未満であり、このまま維持しようとするとう営利事業でバス事業を維持出来ない。町営バスという提案を頂いたが、全国的には縮小傾向にある。仮に行うならコミュニティバス方式は有効である。金銭的に運行事業者が赤字にならないように市町村側で必要経費を負担しながら運行するのが基本となっており、町営とは少し違うが自治体の影響を大きく受けているものとなる。この場合、路線や運賃の設定・届出は協議会で協議して町が行う形になる。この方向で進めるなら、路線に関しては少し見直しをした方が良い。やり方は2種類ある。1つ目が「今までの町域にバス路線が通っていない所にコミュニティバスを通す」。2つ目が「その路線の運行を取りやめる事になるので、公共交通の空白地帯になる所に対して代替の路線を入れる」。三芳町の場合、空白地域があまり多くないため、ライフバスの路線を残しながらコミュニティバスを作るのは現実的ではない。よって、全体的に再編をするという形でないとうコミュニティバス化はできない。一度事業廃止等の手続きを踏み、改めてコミュニティバスを作るのはかなり手間がかかり、ライフバスの負担もかなり大きい。準委託のような形になり金額面の調整もかなり必要となる。1,2年で行うのは大変であるが、どこかでやらなくてはならないため、計画の中で将来像としてあるべき姿を自由に描くということをやっていくべきである。現状のライフバスのネットワークをなるべく残しながら将来像を作る場合と、一度全部なしにして新しく作る場合の両方の将来像を作った上でどこに向かっていくのか計画の中で出していけるようにする。そこで方針ができると我々の動きとしては迷わなくなる。</p>
委員	<p>商店街に関して、町内に「藤久保中央通り商店街」が1つだけ残っている。大手のスーパーにお客さんが集まる傾向がある中でスーパーが移動販売をしている。その移動販売が公共交通に対してどれくらいカバー出来ているのか数字を見たい。また、商工会としてライフバスとどのような取組が出来るのか期待している。</p>
委員	<p>公共交通に関して、住民からの不満も多く、全てを満足させるのは難しいが、ライフバスによる充実したサービスなしでは、住民サービスは成り立たないと感じた。人手不足等で大変だが、将来的には住民のためにしっかりとしたサービス体制をとっていけると良い。今後の問題としてライドシェアも視野に考えて頂きたい。</p>
事務局	<p>予定としては、4月の協議会で策定方針的な資料を提示、第2回目の協議会で骨子案や具体的な計画の中身、最終的には12月までには形にして出すという予定である。</p>

委員	<p>全面的な再編についても視野に入れなければならない。住民は 1、2 年で何らかの対応をしてくれるだろうと期待している。進め方について疑問である。</p>
委員	<p>ライフバスの現状として運賃収入で運行経費が賸えず赤字であるにも関わらず、町民のために広域事業的な扱いで続けている状態である。このような状態ではサービスの改善はできず、むしろ減便廃止が進んでいるという状況が全国的に広がっている。わかりやすい路線、乗り継ぎが便利な集約施設を作るとしても自治体で負担するしかない。どれくらい金銭的に出せるかで計画が決まってくる。地方交付税交付金がもらえない状況では予算の確保が厳しい。バス路線の再編で不便になる地域も出てくる可能性も出てくるため、デマンド交通についても条件を変えて町の負担が大きくならないように再開し空白地域をなるべく小さくする。</p> <p>タクシーの乗務員不足に備えライドシェアについても検討する必要がある。ライドシェアにより乗務員が確保できた場合、タクシー事業で従事してもらうか、もしくは町で引き取りデマンド交通に従事してもらうのかといったことが考えられるが、予算として公共交通にどれだけ出せるかで決まってくる。いくつかシナリオを作り、なるべくライフバスの路線を維持しつつ様々な案を提示できるようにする。デマンド交通を実施した場合の費用等、施策による金額が比較できるようにする。提示された案に対し協議会で自由に議論するのが良い。</p> <p>4 報告 事務局においてシェアサイクル実証実験実施についての報告を行った。</p> <p>5 閉会</p>